

2年1組 道徳学習指導案

場所 2年1組 教室

授業者

- 1 主題名 おもいやりのところ
- 2 内容項目 B 親切、思いやり
- 3 教材名 「ぐみの木と小鳥」 <出典：光文書院>
- 4 主題構成表

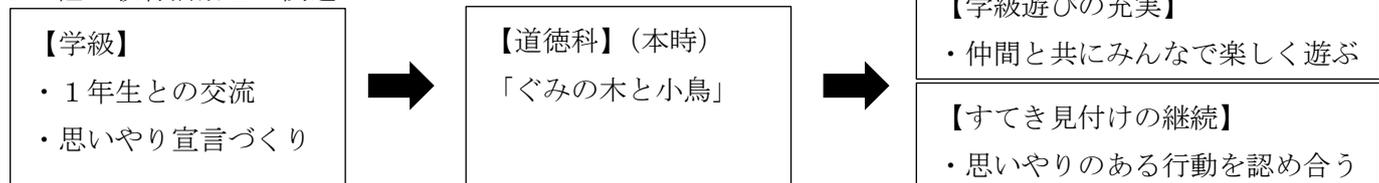
<p>■内容項目</p> <p>B 親切、思いやり</p> <p>身近にいる人に温かい心で接し親切にすること。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を築くためには思いやりをもって生活することが大切である。思いやりには、相手の気持ちや立場を自分の事に置き換え推し量り、相手に良かれと思う気持ちを想像することを通して、自発的に励ましや手助けをすることが求められる。 ・低学年の段階においては、「自分がしたい」という、親切な行動を起こす動機の起因が自分にあることが多い。またそれに気が付くことは難しい。日常での他者との関わりの中で優しさに触れ、自分が優しくできたことに嬉しさを感じ、相手の喜びを自分の喜びとして捉え、親切にする大切さが実感できるようになる。 ・相手の立場に立ち、気持ちを考え、自分にできることをすることで、相手も自分も温かい気持ちになる。相手の喜びを自分の喜びとして受け入れられるようにし、具体的に親切な行動ができるようにする。 	<p>■教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割演技を通して、嵐の中、じっと考えている小鳥の葛藤に共感させ、親切にすることの良さを考えさせ、困っている人を放っておけない気持ちの強さを捉える。 ・ぐみの木から伝えられた感謝の言葉に対して小鳥がそれをどのように感じているかを考え、相手の気持ちを考えた親切の大切さを捉えさせ、相手の喜びが自分の喜びになることに気付かせたい。
<p>■内容項目から見た児童の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かの役に立ちたいという思いはあるが行動に対して自信がもてない。 ・ありがとうと言われたい、褒めてほしいという思いがあるが、具体的に何をすればいいのかが分からない。 ・困っている人にどのように関わればよいのか分からず、人任せにする。 <p>(要因)</p> <p>(道徳アンケートから)親切、思いやりの項目についてクラスの平均としては理解、実践意欲共に高い傾向があるが、自身の行為に自信がもてず、先に動いてくれた人や大人に任せることに慣れてしまっていると考えられる。</p>		

■ねらい

嵐の中を飛ぶ小鳥の気持ちを考えることで、相手の気持ちを考えたときに自分にできることをせずにはいられないことに気づき、温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てる。

<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の活動と関わらせ親切について考える。 ・嵐の中じっと考えている小鳥の葛藤に共感し、相手の気持ちを考えた親切の大切さに気付かせる。 ・ぐみの木からの感謝の言葉を小鳥がどのように感じているかを考え、価値理解に迫る。 ・思いやりのある行動ができた経験を振り返り、親切にしていこうという気持ちを高める。 	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぐみの木の話聞いた小鳥は、どんな気持ちだろう。 ◎嵐がやみそうもない中、じっと考えている小鳥はどんな気持ちだったのだろう。 ○りすやぐみの木の言葉を聞いた小鳥は、どんな気持ちになったのだろう。 ○親切にしたりされたりして、嬉しくなったり気持ちがよくなったりしたことはありませんか。
--	--

5 他の教育活動との関連



6 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 親切について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしくすること。 ・鉛筆を拾ってあげる。 <p>親切にする時、された時の気持ちはどんな気持ちだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>親切について考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり宣言、すてき見付け等の学校の活動とかかわらせて、親切について考えさせる。 ・アンケートを実施して実態を把握しておく。
展開前段	<p>2. 「ぐみの木と小鳥」を範読する。</p> <p>○ぐみの木の話聞いた小鳥は、どんな気持ちだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕もりすさんが心配だな。 ・ぐみの木さんには助けてもらったし、ぐみの木さんの代わりにりすさんの様子を見に行っていってあげよう。 <p>◎嵐がやみそうもない中、じっと考えている小鳥はどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りすさんが待っているから、行かなくちゃ。 ・りすさんが心配だ。 ・りすさんのためにも、ぐみの木さんのためにも行くぞ。 ・この嵐の中はこわいなあ。 <p>○りすや、ぐみの木の言葉を聞いた小鳥はどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嵐の中大変だったけど、行ってよかったな。 ・ぐみの木さんと、りすさんに喜んでもらえてよかったな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>相手のことを考え、やさしい気持ちで自分にできることをする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぐみの木から受けた思いやりの気持ちに応えたいという小鳥の気持ちに共感する。 ・嵐の中の小鳥の心情を、役割演技させる。 ・小鳥の行動に対する思いを、役割演技を通して気付かせる。 ・相手のことを思って、自分にできることをした小鳥の心が思いやりの心であることに気付かせる。 <p>深めの発問</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>○どうして小鳥は、嵐の中でも実を届けようとしたのだろう。</p> <p>○知り合ったばかりのりすさんのためにどうしてそこまでしたのだろう。</p> </div>
展開後段	<p>3. 価値把握をもとに、自分の生活を振り返る。</p> <p>○親切にしたりされたりして、嬉しくなったり気持ちがよくなったりしたことはありますか。</p> <p>「友達が運動場で転んだとき、遊びたい気持ちもあったが、転んで痛いだろうなと思っから、保健室に行った。友達に「ありがとう」と言われてとても温かい気持ちになった。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを記入する。 ・振り返りを交流し、自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を持つことで、周りだけでなく、自分もやさしい気持ちになれることに気付かせる。 ・自分の生活を振り返りやすいように実態をアンケートでつかんでおき、個別に支援する。 ・親切な行動について自分のしたこと、したいこと、相手にしてもらったことなどを意図的に指名し話させる。
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの親切な行動で価値の高いものを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい心で接したことで、相手の心も温かくなりお互いの心の結び付きが深くなった経験を聞き、思いやりの心で接していこうとする。